小４１　鹿児島市立伊敷小学校
令和６年１２月２４日

令和６年度　　学校評価　自己評価書（２学期）

１　学校の重点目標

(1)「主体的・対話的で深い学び」の授業実践
(2)「心に届く生徒指導」の推進と基本的な生活習慣の確立
(3) 命の教育と健康でたくましい体つくり、安全教育の充実

２　課題と改善策

※　評価規準　　４・・・十分達成　　３・・・概ね達成　　２・・やや達成不十分　　１・・達成不十分

			２学期	
学習指導	1	学習のしつけ（机上整理、準備、聞く姿勢など）や学び方等の学業指導をしているか。	3.2	○子供たちが意欲的に学習に取り組む姿を発表の様子や話し合いなどで感じられた。教師の言葉を減らすことが課題である。 ○電子黒板の導入により挿絵や資料、本文を準備する時間が少し省けて良かった。 ○タブレットや電子黒板は，道具の一つとして自分自身は，活用できてよかった。
	2	定着率の向上を図るため、「めあて」「まとめ」の整合性に留意し、授業の終末（ラスト１０分）の充実を図っているか。（「わからないを残さない」授業の実践）	2.7	
	3	問題解決学習・体験的な学習等を通して、子供の主体的・対話的学習の時間を確保し、指導の工夫をしているか。 （非認知能力：コミュニケーション能力、自己肯定感、達成感などの向上）	2.9	
	4	ＩＣＴ機器（タブレット、大型テレビ等）を効果的に活用しているか。（個別最適化）	3.4	
生徒指導	1	アンケートや教育相談、遊び、観察等通し、学級集団や子供たちの実態把握に努め、効果的な指導をしているか。（気になる子供についての情報共有、連携）	3.3	○課題は学年会で話題にして解決方法を話し合うことができた。 ○不登校、保健室登校の児童への対応、心の教育推進委員会の実施がよかった。定期的に共通理解していきたい。 △４あわせ運動は、子供の意識が低いように思う。挨拶、廊下歩行等、職員の共通理解とかなり声掛けが必要である。不登校対策も今後も学校全体で取り組みたい。
	2	「４あわせ運動」（挨拶・集まり・後片付け・安全）について、継続的に指導しているか。	3.1	
	3	日常の報告・連絡・相談により、問題の早期発見に努め、問題発生後の指導は適切に行っているか。	3.5	
保健指導	1	校内の諸施設・設備は、健康安全の視点から適切に処置しているか。	3.4	○熱中症対策について、共通理解しながら進めることができた。 △廊下歩行、歯磨き指導など常に声掛けをしないと守られていない実態がある。子供への意識づけを徹底したい。
	2	子供の危険予知能力を育成する指導や、非常災害時における連絡体制及び事故防止対策をしているか。	3.1	
	3	生活リズム表や歯磨き、疾病治療等について、継続的に指導しているか。	3.2	
	4	体力・運動能力調査の結果を基に、体力つくりを継続的に指導しているか。（一学校一運動『なわとび運動』の実践、長座体前屈・反復横跳び・ソフトボール投げの向上につながる運動）	3.1	
	5	学校版環境ＩＳＯや環境衛生に関する取組をしているか。（節電・節水・ごみの分別等）	3.2	

３　３学期に向けての取組

【学習指導】タブレット、電子黒板を活用し、個に応じた指導を実践する。

【生徒指導】「４あわせ運動」（挨拶・安全・集まり・後片付け）を意識し、全校で取り組む。

【保健指導】生活リズムや疾病治療など、継続して指導する。感染症対策（手洗い・うがい、換気）に取り組む。